熊本大学大学院生命科学研究部
教授　宇佐美しおり氏
講演一「現代の若者におけるメンタルヘルス障害の特徴」
山口大学保健管理センター教授
平野　均氏
講演二「総合大学における現状と取り組み」
熊本大学教授・保健センター長
岸川秀樹氏
講演三「医療技術系大学における現状と取り組み」
九州看護福祉大学教授・保健管理センター長　齋田和孝氏
講演四「医療技術系専門学校における現状と課題」
熊本総合医療リハビリテーション学院長　辻野智二氏
九州中央リハビリテーション学院長　児玉公道氏
総合討論（司会者は同上）
パネリストは講演講師五名
参加人数　約一三〇名

その後、十二月十一日に熊本日日新聞紙面一頁に亘って講演・協議の内容を報告しました。また、その報告紙面を「肥後医育振興会」ホームページに転載し、自由に閲覧できるようにいたしました。

平成二十六年度（第十九回）肥後医育振興会医学研究助成を行う

平成二十六年度（第十九回）肥後医育振興会医学研究助成金授与候補者の選考が、平成二十六年九月一日に肥後医育振興会助成選考委員会において行われました。

平成二十六年度の助成選考委員会は、それぞれの所属機関から推薦を受けた次の七名です。熊本大学大学院生命科学研究部からは山縣和也教授（基礎系）、水田博志教授（臨床系）、大塚雅巳教授（薬学系）、大坪和明教授（保健学系）が、センター系からは熊本大学生命資源研究・支援センターの荒木喜美教授、熊本県医師会から河野文夫理事（国立病院機構熊本医療センター院長、関連病院から国立病院機構熊本医療センターの高橋毅副院長で構成され、互選で山縣和也教授が委員長となって、応募者ひとり一人について公正且つ厳正な選考が行われました。

医学研究助成金の応募者は、熊本大学大学院生命科学研究部から六名、同医学部附属病院から六名、同発生医学研究所から一名、同エイズ学研究センターから一名、薬学部から一名、熊本保健科学大学から一名、社会医療法人社団高野会高野病院から一名、医療法人社団寿量会熊本機能病院から一名の計十八名であり、その中から次の四名が授与候補者として選考されました。その後、理事長に推薦し、理事会において承認された後、それぞれに十五万円が贈呈されました。

泉（イズミ）　裕一郎（ユウイチロウ）（三十六才）
熊本大学大学院生命科学研究部　研究員　腎臓内科学分野
「腎集合尿細管間在細胞において酸塩基平衡関連遺伝子群を調節する新たな転写因子の同定」

井上（イノウエ）　泰輝（ヤステル）（三十五才）
熊本大学大学院医学教育部　博士課程二年　神経内科学分野
「DPP－4阻害剤にプレイオトロピズムは存在するか？　新規脳アミロイドアンギオパチー治療戦略への挑戦」

梶原（カジハラ）　隆太郎（リュウタロウ）（二十七才）
熊本大学発生医学研究所　研究員　幹細胞誘導分野
「スフィンゴリピドーシス患者由来iPS細胞の神経分化誘導・病態解析および薬剤スクリーニングにおける質量分析機LC－MS／MSを用いた評価法の構築」

境田（サカイダ）　奈津子（ナツコ）（二十七才）
社会医療法人社団高野会　高野病院管理栄養士
「クローン病患者の栄養アセスメントに関する研究」

平成二十六年度（第十八回）肥後医育振興会外国人留学生奨学助成を行う

医学・医療国際交流支援事業の一つとして、平成二十六年度（第十八回）肥後医育振興会外国人留学生奨学金授与候補者の選考も、医学研究助成金授与候補者の選考に併せて行われました。

本年度は熊本大学大学院医学教育部長から推薦を受けた四名の応募があり、いずれの応募者も奨学助成対象者に相応しいとして四名全員が授与候補者として選考されました。

その後、理事長に推薦し、理事会において承認された後、それぞれに十五万円が贈呈されました。

趙（チョウ）　加斌（カヒン）
熊本大学大学院医学教育部
博士課程一年（中国）
（分子遺伝学分野）

王（オウ）　馳（チ）
熊本大学大学院医学教育部
修士課程二年（中国）
（知覚生理学分野）

黄（ホン）　冠男（グワンナン）
熊本大学大学院医学教育部
博士課程二年（中国）
（神経内科学分野）

朱（シュ）　順順（シンシュン）
熊本大学大学院医学教育部
研究生（中国）
（分子遺伝学分野）

平成二十六年度医学研究助成金・外国人留学生奨学金の授与式を開催

平成二十六年度第十九回肥後医育振興会医学研究助成金及び第十八回肥後医育振興会外国人留学生奨学金の合同授与式